ウォーキング

専修寺を拝観して室山の郷を経由・サイエンスシティ公園へ

令和 8 年 10 月 10 日（土）

1．ルート　　近鉄高田本山駅～専修寺～伊勢別街道～大里小野田町～
山室町～工業団地～サイエンスシティ公園
8.0　km（15.000 歩）

2．参加者　　伊橋健治・太田　徹・喜吉　雄・高木　勉・伝田　貢・中村　衛・濵田　一
7　名

3．ドキュメント



旧家の屋敷



整備された門前町通り

秋の気配が感じられる朝、９時１２分近鉄高田本山駅に集合。駅名にお寺の名前が使われているのは珍しい。「道が狭く車が多いので気を付けて歩いてください」と幹事から注意を受けて歩きはじめる。15 分程歩いていくと門前町の雰囲気を感じるようになる。立派な山門を潜ると大きな伽藍が二堂並んでいる。右側が御影堂で左側が如来堂で大きさでは全国有数の木造建築とのことである。ここが浄土真宗高田派の総本山・高田本山専修寺で国宝に指定されている。



如来堂と御影堂



如来堂と御影



御影堂前の山門



如来堂前の唐門

境内を散策して寺町通りに戻って安楽橋を渡ると高田本山の領域を離れる。伊勢別街道に入ると古風な造りのＪＲ一身田駅の前を通る。踏切を渡りすぐのところに大きな常夜灯を見ることが出来る。この常夜灯 8.6ｍもありこの付近では最大の大きさで窪田の常夜灯と呼ばれ、西側に江州の文字が刻まれている。言い伝えによると近江の商人たちが伊勢神宮に寄進するため運搬してきたけれどこの地で力尽きて窪田の人たちの力を借りてここに設置したとのことである。



寺内町を示す西側の安楽橋



古風なＪＲ一身田駅



窪田の常夜灯



江州の文字が刻まれている

伊勢別街道から外れて中勢バイパス（R－23）の下を潜って大里小学校の横を通り志登茂川に架かる古川橋を渡ると小野田町に入る。そこには菅原道真を祀る「多為神社」が鎮座している。木陰を借りて給水タイムをゆっくりと摂る。神社の横にはコスモスが今を盛りと咲いていた。この付近に千福寺と長久寺があり、前を通ったけれど拝観することなく山室町に向かって歩を進める。



絶好の休息となった多為神社



コスモス畑



道端の古めかしい常夜灯



長久寺の山門



山室の村中を歩く



この道ができた頃の最近の常夜灯



サイエンスシティ公園



山室を抜けて坂道を上り詰めたところにサイエンスシティと名付けられた工業団地がある。広大（約 100ha）な土地に 80 社ほどの大中小企業が事業を展開しているとのこと。その傍にグリーンパークと呼ばれている公園がある。そこに辿りついたのは 11：50 駅から 2 時間 30 分ほど歩いたことになる。高台の休憩場所に座り込み昼食を摂る。この公園も広く 28ha ほどあるとのこと、多くの親子が遊んでいた。秋晴れの好天に恵まれて楽しい一日を過ごせたのは何よりもうれしい限りである。

公園横のバス停から津駅行のバスに乗り込むも津駅まで行く予定を変更して一身田団地前で下車し、15 分ほど程歩いて往きに降りた高田本山駅から帰途に就く。